

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	教職実践演習（幼）					授業形態	演習			
科目コード	750179	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	藤本 朋美、西田 雅美							ICT活 用	○	
授業概要	<p>本授業の目的は、大学4年間にわたる専門的な科目履修や実習等を通して習得してきた知識・技能を点検・確認するとともに、不足している知識・技能等があれば保管・向上させ、教育や保育の現場で働く知識や技術を身に付けていくことです。また、同時に、保育者として必要とされる地域との連携について理解し、実践できる力を身に付けることも目指しています。</p> <p>そのために授業では、最初にこれまでの学びを振り返り、各自の課題を把握します。その課題解決も含め、保育者として必要な資質・能力の向上を図り、最後に、再び自らの課題を明らかにし、学び続けることの意義を考えます。</p>									
関連する科目	「保育実習」「教育実習」を事前に履修しておくことが望ましい。									
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業にて、演習形式の授業を展開します。1回の授業の構成は以下の通りです。</p> <p>授業の前半では、授業計画に沿った内容について講義を行います。</p> <p>後半では、グループディスカッションを通して講義内容の理解を深め、自らの課題を明らかにし、レポートにまとめます。場合によっては、グループごとにプレゼンを行います。</p> <p>なお、講義資料の提示・課題の提出は、ユニパのクラスプロファイル上で行います。</p>									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション：自らの課題を把握 4年間の学びを振り返り、今後の課題を把握します。									
授業計画 【第2回】	教育・保育の意義や保育者の役割、職務内容、子どもに対する責任等について 保育者の専門性とは何かについて考えます。									
授業計画 【第3回】	社会や対人関係能力について 社会人として必要な力と対人関係能力について考えます。									
授業計画 【第4回】	乳幼児理解について これまでの学びと経験から乳幼児理解について振り返ります。									
授業計画 【第5回】	保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領における保育内容の理解 指針・要領に関して理解を深めます。									
授業計画 【第6回】	地域連携における保育者の役割 保育者として地域と連携することの意義について学びます。									
授業計画 【第7回】	地域連携に向けた保育実践の企画 地域連携の実際について具体的に企画・提案をします。									
授業計画 【第8回】	保育者の仕事-現場保育者から学ぶ 近隣園の保育者を招き、保育者の仕事について理解を深めます。									
授業計画 【第9回】	保育者として働くということ-先輩保育者から学ぶ 卒業生を招き、保育者1年目の実際について学びます。									
授業計画 【第10回】	地域子育て支援について 地域子育て支援について具体例を基に考察します。									

授業計画【第11回】	保育者としての子ども理解-記録を通して 保育実践における記録の意義について学びます。
授業計画【第12回】	現代保育の課題 現代保育の課題についてグループディスカッションを通して考えます。
授業計画【第13回】	これからの保育者に求められること 保育者に必要な専門性について、これまでの学びを踏まえて考えます。
授業計画【第14回】	履修カルテの振り返り 履修カルテを使い、4年間の学びを再確認します。
授業計画【第15回】	まとめ 学び続ける保育者であるために自らの課題を明らかにします。
授業の到達目標	1. 教員として求められる資質である4つの事項（次の①～④）を身に付ける ①使命感・責任感・教育的愛情 ②社会性・対人関係能力 ③子ども理解と学級経営等の能力 ④保育内容等の指導力 2. 地域との連携を考えた保育実践について理解し、実践できる
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	次回の内容に関する課題を授業中に課します。その課題に積極的に取り組み授業に臨むことを予習とします。
授業時間外学習【復習】	授業の振り返りと、4年間の学びを踏まえた各回の授業内容に対する自己分析を行うことを復習とします。復習を通して自らの課題を見つけることを心掛けてください。
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却します。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 授業への積極的な取り組み・意欲60点 2) 課題提出40点
テキスト	『「改訂版」保育教職実践演習 これまでの学びと保育者への歩み』（1,600+税）、小櫃智子/矢藤誠慈郎、わかば社、2018
参考書	『保育所保育指針解説書』（320+税）、厚生労働省編、フレーベル館、2017 『幼稚園教育要領解説書』（240+税）、文部科学省編、フレーベル館、2017 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書』（350+税）内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館、2017
備考	